

思いやりあふれる風が吹く



ASAHI UNIV.

NO. 23

2011. January

ぶらざ村上

発行日/平成23年1月24日 企画編集/広報委員会

●年頭のご挨拶	病院長 安藤 隆	2
●地域の特性に適応した医療をめざして	外科教授 江川 裕人	3
●白内障手術で老眼が治る!	眼科教授 堀尾 直市	3
●新棟建設工事を開始	管理課 加藤 祐司	4
●入院患者さん全員にひざ掛け贈る	医事一課 浅野 一男	4
●新任紹介		4
●市民公開講座	管理課 鈴木 総一郎	5
●当院の多剤耐性菌対策について	感染管理認定看護師 尾崎 明人	5
●患者満足度調査を実施しました	医事一課 浅野 一男	6
●総合健診センター報告会の開催について	医事一課 古泉 尚	
●ボランティア公開講座とボランティアの集いの開催について	ボランティア支援室 寺島 令子	
●消防訓練の実施	管理課 鈴木 総一郎	7
●シリーズ医食同源～免疫力アップ食～	栄養管理室 高橋 貞子	
●診療医ご案内		8

MURAKAMI
MEMORIAL
HOSPITAL



新棟完成予想図



年頭のご挨拶



病院長
安藤 隆

平成23年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は国内の社会情勢は不況が続き大変厳しい年でした。政党が変わりましたが、財政赤字

はどんどん膨れ上がり日本の経済に一向に明かりが見えず、皆さんも不安を抱いて新年を迎えられたかと思えます。医療においても医師不足、看護師不足が続ぎ、自治体病院では医師不足と経営難から閉鎖に追い込まれる病院も多く、地域医療崩壊の危機であると叫ばれております。国の予算の中で医療費の占める率は高く、昨年の厚生労働省の報告によりますと2008年度に病気がけがで全国の医療機関に支払われた医療費の総額(国民医療費)は34兆8084億円で過去最高額とされております。その要因は高齢化進行と医療技術の向上に伴う増加であると分析しており、25年度までに2%増加すると見込まれております。高齢化とともに介護・医療費の占める率が高くなることは予想されたことであり抑制は困難です。政府は財源を捻出するため、事業仕分けで無駄の削減に取り組んでいるようですが、効果が出ていないのが実情です。また雇用低迷、賃金抑制による経済的理由で必要な医療が受けられない深刻な実態が報告されております。先日も病院へ通院されている患者さんで、経済的理由から高血圧の薬を1日おきに服用していると言われたのには私もショックを受けました。追いつきをかけるように、厚生労働省の試算では、65才以上の月額保険料が12年度には約5200円に上がる見込みとのことです。これらの問題に対し、私も医療者としては力及ばず、歯がゆい思いでみているだけであります。いつでも何処でも誰でもが、必要な時に十分な医療を受けられる体制になることを願うばかりです。

昨年は多剤耐性菌アシネトバクターの院内感染がマスコミにも取り上げられました。ある大学病院では死亡者が出て、大きな問題となりました。その後も多くの病院から、この感染症の発生報告が出てきております。これからも出現が予想される他の多剤耐性菌感染対策は重要課題であると考えております。当病院では幸い発生例はありませんでしたが、いつ何時、遭遇するかも知れません。油断することなく、感染対策チームが中心になって感染対策に取り組んでいきたいと考えております。

もう一つの課題は、医療事故防止であります。昨年11月に米国の病院に入院した高齢者の7人に一人が投薬ミス、手術中のミス、院内感染などの被害を受け、月に約1万5千人が死亡しているという驚くべき調査報告がありました。当院ではこの1月に新たに医療安全対策マニュアルを刷新しました。これからも医療安全に職員全員で取り組んでいく所存であります。最先端医療を目指すことも大切ですが、困難な手術が成功しても感染、医療事故で結果が悪ければ患者さんにとって取り返しのつかない不幸となります。医療は感染予防、医療安全が原点であると考えております。

昨年12月から新棟の建築工事で皆さまには騒音などでご迷惑をおかけしております。病院東側に駐車場、病院西側に5階建ての新棟の新築工事がスタートしております。完成は1年後の予定で、新棟完成後には引き続き既存の本館・東館の建物の増改築工事に入ります。

新棟について述べますと、1階にリニアックの放射線治療装置、2階には健診センター(東館からの移動)、3階は特殊疾患及び亜急性期病棟、4階はリハビリテーション病棟(本館からの移動)となります。新棟建設の理由は診療科が、10年の間に6診療科から22診療科に増え、診療スペースが足りなくなること、健診センターもスペースが狭くなり、健診予約が数ヶ月先の状況で健診を希望される方に迷惑をおかけしてきたことです。新たな健診センターでは、待ち日数を短縮し多くの方に健診を受けていただき、予防医学を充実、促進できればと思っております。近年、日本の病院では急性期病院と慢性期病院とにすみ分けされる時代となっ

ております。医療費削減などを含め利点も多い制度かも知れませんが、その反面、患者さんにとっては急性期から慢性期の治療へのスムーズな移行がうまくいかず、困られる方も多くおられます。急性期と慢性期の間をうまく橋渡しできる施設がどうしても必要であると考え、特殊疾患及び亜急性期病棟、リハビリ病棟の増設を計画いたしました。スムーズな移行の役目を果たしてくれると期待しております。また本館・東館の改装工事により外来化学療法室、内視鏡室などを新設、眼科、歯科、口腔外科の健診センター跡地への移動、病棟ではトイレ、浴室など利便性、アメニティ部門の改善が行われます。入院患者さんには工事期間中、ご迷惑をおかけすると思いますが、ご容赦ください。

皆様にとって今年こそ、よい年になることをお祈りし年頭のご挨拶とさせていただきます。

病院の理念

朝日大学歯学部附属村上記念病院は、信頼性の高い医療の提供と充実した予防医学により社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立った医療を行います。
2. 高度で安全・質の高い医療を行います。
3. 安全・高度な歯科医療を医科と連携して行います。
4. 地域と連携して、きめ細やかな医療サービスを提供します。
5. 健康管理と生活習慣病の予防に努めます。
6. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。

患者さんの権利

1. 一人一人の人格や価値観を尊重した医療を受けること。
2. 高度で良質・安全な医療を受けること。
3. 十分な説明と情報提供を受け、自分の意思で治療法などを選択すること。
4. 個人情報保護されること。
5. 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めること。

2010年6月1日改正

地域の特性に適応した医療をめざして



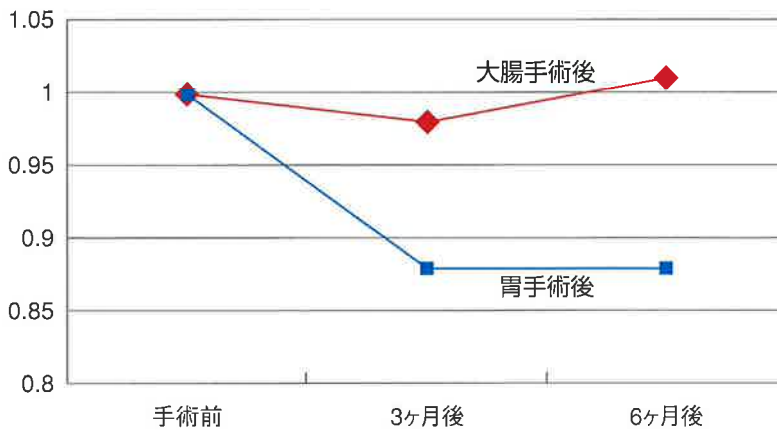
外科教授
江川 裕人

昨年4月に、朝日大学
村上記念病院に着任し
て一番印象深かったこと
は、高齢の患者さんが多
いことでした。少し前ま
では80歳近くになると、

人になっても本人に知らせないとか、手術をせずにその場しのぎ的な診療で、何となく医療サイドも家族も満足していました。しかし、平均寿命が80歳ということは、80歳近くまで生きた人は、若くしてなくなった人のぶんさらに長生きする体力を持った人であると認識するべきであり、80歳近くまで生きた人であるからこそ、治療を手控えてはいけないというのが最近の考え方です。とはいえやはり若い人とは違い、心臓、血圧、糖尿病などの基礎疾患や組織がもろかったり、術後せん妄などのリスクがあります。また、お腹の手術には胃、大腸、肝臓、脾臓など様々な臓器があり、それぞれ手術が異なり、術後の回復もそれぞれ異なります。そこで私たちは、手術を受けた高齢の患者さんが少しでも元気になるだけという観点から、管理栄養士と理学療法士と一緒に考えました。まず、患者さんの栄養状態が手術後どのように変化するかを手術から1年間調べました。わかったことは、手術する臓器によって特徴があるということです。大腸は早い人は1ヶ月、遅い人は3ヶ月で元通りになりますが、胃と脾臓は半年経っても元の状態に戻りません。また、筋力はリハビリを頑張られた方は維持されることもわかりました。このことから、胃と脾臓の手術を受けた方には、術後半年以上リハビリを組み合わせる栄養指導が必要であることがわかりました。また、手術の前に栄養状態が悪い患者さんは手術後に感染症にかかり

やすく、手術前にリハビリで筋肉がついた患者さんは回復が早いこともわかりました。そこで平成22年の秋から、高齢者の方には「手術の前に太って筋トシをして手術をうけてさっと帰る」ことをめざして、手術を受けることが決まった時点で直ちに、管理栄養

栄養指標 (BMI) の手術後変化
—手術前を1とした時の相対的变化—



養士と理学療法士に連絡し指導が始まります。これまで手術の前の検査でベッド上安静と絶食が続く、病弱の体がいっそう弱っていました。この介入により手術時の状態が驚くほど良好になりました。手術翌日から理学療法士がベッドサイドに訪れ、「さあ歩きましょう」と鞭を飛ばしにきます。当院では、大腸がんや胃がんの半分以上が侵襲の少ない腹腔鏡手術であるため、いっそう回復が早く90歳の患者さんが胃の手術をうけて約2週間で退院されていきます。中には寝たきりで入院されてリハビリが奏功し手術時に立てるようになり、大腸がんの手術後歩いて手を振って退院されたお年寄りもおられます。

2年かけてようやくここまでできました。今後、より効果的な指導方法を開発する計画です。

白内障手術で老眼が治る！

眼科教授 堀尾 直市

昨年12月から当院で、白内障手術の時に多焦点眼内レンズを入れることができるようになりました。白内障手術は、眼の中の水晶体と呼ばれるレンズを人工レンズに交換します。通常の手術では、交換するレンズの焦点が一つしかないため、遠くあるいは近くのどちらか一方ですが、しっかりと見えません。しかし、多焦点レンズでは、老眼鏡がなくても、遠くと近くが見えるようになります。ただし、このレンズを使用した手術に適した眼が限られていますので、眼科医によく相談して受けるようにして下さい。また、保険が使えませんので、費用がかかります。

新棟建設工事を開始

管理課 加藤 祐司

病院西側駐車場(朝日大学専用第1駐車場)敷地内に新棟を建設する工事を開始しました。

まず始めに東館の東側にあった旧自動車学校及びガソリンスタンドの敷地に駐車場を作ります。

その完成を待つて西側駐車場の約半分を使い新棟を建設、その後、3階部分で本館と空中廊下で接続し、新棟が完成します。

新棟は地下1階、地上5階建てで、次の機能を備えます。
①地下1階に放射線治療器を設置し、これまでできなかったがん治療に対応できるようにします。

②東館で行っている人間ドック、検診部門を新棟の1、2階に移します。

お陰様で好評をいただいております総合健診センターですが、建物が手狭となってきたため受診日のご希望に添えないことやフロア間の移動等ご不便をおかけすることが多々起きており、これらを解決し、より快適な検診を提供できるようにします。



新館

③3、4階に病棟を造ります。

④5階は電気設備、空調機の室外機等を置くための場所となります。

本院はこれまで358床の病棟でしたが、これを総数400床に増やし、そのうち、約100床を新棟に設置します。

こちらは、回復期リハビリテーション病棟のほ

か、急性期の治療を終えた方の治療を行う病棟とします。

工期は約1年で、本年12月中旬に完成し2012年から稼働する予定です。

また、同時に現在の正面玄関の増改築を行い、8階の売店と喫茶・軽食堂を1階に移す予定で、現在のロータリーもその姿を一新します。

正面玄関の工事中は現在の本館1階にある自販機コーナー付近を仮の出入口とします。

新棟が完成した後は、本館、東館のリニューアルを行い、外来診療室の整備・拡充、病棟の環境整備を中心に工事を続行します。

2013年春には全ての工事が完成予定です。
工事中は、騒音や車輛の出入り等で大変ご迷惑をおかけします。また、その期間中は駐車場の収容台数も現在より大幅に減少することとなるため、こちらについても多大なご迷惑をおかけすることとなります。

本院では、これまで地域社会に貢献するためにいろいろな改善を行って参りましたが、建物、設備に関することについては対応が遅れておりました。

今回の新棟建設、本館・東館のリニューアルにより、いくらかでもこれらの問題を解決したいと考えております。
新しい村上記念病院を楽しみにお待ちしております。



本館・東館

新任紹介



整形外科 医師
後藤 毅
(ごとう つよし)

地域の皆様のお力になれるよう頑張ります。

(2011年1月1日 赴任)



循環器内科 医師
後藤 芳章
(ごとう よしあき)

専門は大血管、抹消血管の血管内治療と心臓リハビリです。

(2011年1月1日 赴任)

入院患者さん全員にひざ掛け贈る

医師一課 浅野 一男

平成22年12月24日(金)クリスマスにぬくもりを贈ろうと、森プリント(羽島郡笠松町米野)の森典義社長様から入院患者さん70人にひざ掛けとフリザーブドフラワーのプレゼントがありました。

約6年前からほぼ毎年この時期に、取引先である繊維会社様の協力を得てご寄附いただき、今回も回目となる。当日は、森プリント様の紹介者でもある当院非常勤講師いちだクリニック院長の市田正成先生にご参加いただき、サンタクロース姿に扮して病室を訪問。「元氣になってください」「お大事に」と患者さんひとりひとりに声をかけてひざ掛けを渡すと、患者さんは「心のもったぬくもりをありがとうございます」と笑顔をはこぼらせていました。

市民公開講座

管理課 鈴木総一郎

来る2011年2月12日(土)、本院外科医師及び泌尿器科医師を講師として、市民公開講座を開催します。昨年はがんにならないための講演でしたが、今年はがんになったときにあわてないように最新の治療法に関して情報を提供したいと考えています。

近年の癌(がん)の診療は薬(抗癌剤)や放射線治療技術の開発により著しい進歩を遂げています。また一つの治療法だけでなく手術や放射線や抗癌剤を組み合わせた集学的治

療も成果を上げています。しかし、内臓のがんでは外科的切除がもつとも根治性が高い治療であること変わりはありません。今回の市民公開講座では、がん治療の基本的な考え方と最近のがん化学療法法の進歩を理解していただき、実際に朝日大学村上記念病院で行われている化学療法や胃・大腸などの消化器と泌尿器領域での侵襲の少ない新しい外科手術や肝臓や膵臓のがんに対する難度の高い手術についてわかりやすく説明します。

朝日大学40周年記念 朝日大学村上記念病院 市民公開講座

日程 2011年2月12日(土)
13:30~16:30(13:00開場)
会場 じゅうろくプラザ
(岐阜市文化産業交流センター)
2階 ホール
〒500-8856
岐阜市備本町1丁目10番地11
TEL.059-262-0150

がん治療の 最前線

内容

座長：久米真 准教授

- ① がん治療の現状 中嶋 早苗 講師
- ② 胃がんの治療 川部 篤 准教授
- ③ 前立腺がんの治療 江原 英俊 教授

座長：江部 英俊 教授

- ① 大腸がんの治療 中嶋 早苗 講師
- ② 肝胆膵のがんの治療 江川 裕人 教授

定員

600名
(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

単位認定

本公開講座は、岐阜市の生涯学習「長良川大学」の単位に認定されます。

入場無料



申込方法

- (1) 申込用紙にご記入のうえ、郵送またはFAXにてお申込みください。
 - (2) ホームページ(www.murakami.asahi-u.ac.jp)でのお申し込みも受け付けております。
- また、「がん治療」に関する質問がございましたらあわせてご記入ください。当日の質疑応答の中で可能な限り紹介いたします。車椅子でご来場の方は、その旨をご記入ください。

申込・お問い合わせ先

〒500-8823 岐阜市備本町3丁目23番地
朝日大学村上記念病院管理課 市民公開講座担当
TEL.059-254-0908 FAX.059-263-7039

主催／朝日大学村上記念病院 後援／岐阜県医師会、岐阜市医師会、岐阜新聞・岐阜放送、中日新聞社

当院の多剤耐性菌対策について

感染管理認定看護師 尾崎 明人

昨今、「マスメディア」で「多剤耐性菌」について報道されることが多くなりました。「多剤耐性菌」の特徴は、①本来病原性は高くないが病気になる人に感染すると重症化する、②治療薬が効きにくい、③「コロニー」です。

一般家庭では問題にならない「多剤耐性菌」ですが、病院では抵抗力の低い患者さんを守るために院内感染対策が重要です。「多剤耐性菌」といっても本来環境中の常在菌と同類ですから、感染対策の要点は特別なものではなく、手指衛生(手洗い)と接触感染予防が重要です。当院では各病室の入り口に手指消毒剤を設置したり(写真1)、各職員が手指消毒剤を携帯したりすることにより手洗いを徹底しています(写真2)。



写真1



写真2

さらに、病院は薬剤、手術、処置など高度な医療を提供する場所であるため、様々な機器を中央材料部中心に一元的に管理する系統的な滅菌・消毒システムを導入しています。当院の感染対策方針の柱は①職員の教育啓発・感染対策マニュアルの普及、②診療科を超えた感染対策の相互チェック(週一回の院内巡回、検査室からの検出菌データ感染症発生状況の把握、薬局主体の院内抗菌薬使用の適正化指導、環境整備指導)、③院内感染防止のための様々なデータ収集とその分析です。「多剤耐性菌」が検出されたときには院長直属の感染対策委員会を中心に個別に適切な対策を立て対応していきたいと思っております。

患者満足度調査を実施しました

医事一課 浅野 一男

当院では、患者サービスの向上を目的とし、医療サービス向上委員会を設置しております。
副病院長を委員長として各所属から委員を選出し、毎月一回開催しております。

当院では、この医療サービス向上委員会が中心となり患者満足度調査を年一回行っております。
調査はあらかじめ設定した期間に外来・入院を分け、専門業者に集計や分析等を委託し実施しています。

当院に対する率直な評価とご意見をお伺いし、患者サービスの向上等、今後の病院運営に役立てるための貴重な資料としてと考えております。調査結果からは、当院の取り組みや姿勢に対してご理解を示してくださる方々の存在を感じております。

今後も医療サービス向上委員会の活動を通じて、患者さんの立場に立った医療サービスの改善を行い、地域に信頼される開かれた病院を目指し、真摯に患者さんの声に耳を傾ける努力を続けてまいります。

なお、今回の調査結果につきましては、一階ロビーに掲示をさせていただきます。アンケート調査にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



総合健診センター報告会の開催について

医事一課 古泉 尚

村上記念病院総合健診センターにおいては、毎年10月に総合健診センターと人間ドックのご契約をいただいております健康保険組合・共済組合にご担当者との理解を深め、かつ、よりよい健診を進めていくため、開催しております。

昨年は、10月19日(火)に岐阜キャッスルインにおいて23社28名の健康保険組合・共済組合などの関係者が集まり、約2時間半に渡り開催いたしました。

同報告会では、その年に総合健診センターで行った事業報告や健診成績報告の他、医学ニ講座を毎回行っており、今回は消化器内科講師の大河昭博医師の「便潜血と大腸がん」についての講演が約30分に渡り行われ、関係者は真剣にその講演に聞き入っていました。

また、その後の意見交換会においても、出席者から本総合健診センターに対する要望・意見・質問などの活発な意見交換がなされ、大変有意義なものになりました。

なお、総合健診センターは2012年2月頃から、その施設を西側駐車場の一角に建設予定である新棟の1・2階へ移設し、新たに健診を開始する運びとなりました。今回の報告会でいただいたご意見・ご要望につきましては、新棟の運営に際して反映させていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いたします。



ボランティアの集いの開催について

ボランティア支援室 寺島 令子

2010年7月22日(木)第7回病院ボランティア公開講座が本院4階講義室において、病院ボランティア・一般市民・専門学校生など40数名が参集の中開かれました。本院管理栄養士の脇田昌子管理栄養士の講演「フランスのよい食事とは？」「今晚何食べますか」についての講演の中、これを機にもう一度自分の食生活、栄養のバランスについて考えさせられた有意義な講演でした。(写真1)

今回で第7回になる病院ボランティアの集いが、2010年11月18日(木)ホテルリソル岐阜にて、本院病院ボランティア グループ(そら)・日赤奉仕団・音楽ボランティア・写真ボランティアの皆様や本院職員が集まり開催され、様々なご意見をいただきました。懇親会では「ほけない小唄」「ほけます小唄」をみんなで合唱し盛りあげました。(写真2)



写真1



写真2

消防訓練の実施

管理課 鈴木 総一郎

2010年11月19日、大地震発生を想定した消防訓練を実施しました。改正消防法に基づき、自衛消防組織を本部組織に加えて新しく地区組織を編成したことで、より活気に満ちた訓練となりました。

今まで定期的に実施していた火災発生による消火・通報・避難訓練に加え、地震が起きた場合の身の安全確保、そして、地震が鎮まった後の状況把握をいち早く行うため、病棟や外来部門等部署毎で編成した各地区組織の防災担当責任者が、通報連絡、初期消火、防護措置、救護、避難誘導等の業務をそれぞれの担当者に指示を出し、各担当者が業務遂行後、防災担当責任者に報告するまでの訓練を行いました。初回ということもあり、改善すべきことも見受けられましたが、それらを見直し、今後も定期的に訓練を実施することで、有事の際にも速やかに対応でき、患者さんが安心できる病院を目指して努力してまいります。



シリーズ 医食同源 NO.8 免疫カアップ食

栄養管理室 高橋 貞子

よくカゼをひいたり、胃腸の調子を崩したり、疲労感が強く、不眠症や肌荒れのある方は生活習慣をチョット振り返ってみましょう。

毎日の食事が「免疫力」に差をつけます。

免疫力をアップさせるためには

- 1 免疫力を高める働きの食べ物をとること!
- 2 腸内環境をととのえること!



体が喜ぶ免疫カアップのレシピを紹介します。

長いもの豚肉巻き (ねばねば成分で免疫力を高める)

材料 1人分	(218kcal)	作り方
豚肉薄切り 60g	焼肉のたれ 5g	1 長いものは皮をむき酢水にさらす。水けをきって棒状に切る。
長いも 60g	レタス 30g	2 豚肉を広げ長いものを巻く。
砂糖 5g	パセリ 2g	3 巻いた豚肉を焼き調味料で味をからめる。
しょうゆ 5g	カラーピーマン 3g	4 器に切ったレタスなどを盛ってドレッシングをかける。
みりん 3g	ドレッシング 5g	

大根とじゃこの生姜炒め (生姜で体はぽっかぽか)

材料 1人分	(63kcal)	作り方
大根 100g		1 大根は短冊に大根葉は小口切りにする。
大根葉 10g		2 生姜は千切りにする。
じゃこ 5g		3 大根炒め、じゃこと大根葉を入れ、味を加えて炒める。
生姜 5g		
ごま油 3g		
そばつゆ 10g		

野菜たっぷりトマトスープ (抗酸化ビタミンたっぷりの野菜で老化を阻止)

材料 1人分	(418kcal)	作り方
キャベツ 20g	トマトジュース 30g	1 野菜を適当な大きさに切る。
たまねぎ 10g	トマトスープの素 20g	2 なべにトマトジュース、水、トマトスープの素を入れ煮立てる。
人参 10g	水 150g	3 野菜、むきえび、むきあさりを入れしばらく煮る。
ブロッコリー 15g	塩 少々	4 味をととのえる。
むきえび 20g	こしょう 少々	
あさり 15g		

生姜とはちみつ漬け入りヨーグルト (発酵食品で免疫カアップ)

材料 1人分	(92kcal)	作り方
生姜はちみつ漬け 10g		1 千切りの生姜50gとはちみつ70gを密封容器に入れ冷蔵庫で保管。
プレーンヨーグルト 100g		2 お好みの量をヨーグルトにかける。



診療医ご案内



(平成23年1月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	堀江	宮田 (非常勤)	大洞	高野	吉田 遠藤
	予約診	加藤(隆) 小島(孝) 宮脇	大洞 高野 遠藤	小島(孝) 堀江	加藤(隆) 吉田	奥田 福田	加藤(隆)
循環器内科 腎臓・循環器内科		瀬川 後藤(芳)	加藤(周) 大野	瀬川 後藤(芳)	加藤(周) 松岡	大野 早川 (非常勤)	担当医
糖尿病・内分泌内科		猿井	武田 猿井	武田 佐々木	猿井 佐々木	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		—	—	舟口 (非常勤)	—	非常勤	—
外科		江川 園田	川部 久米	江川 久米	中嶋 園田	川部 中嶋	担当医 山本 (第2・4週目)
乳腺外科	初診	安部	安部	細野	安部	細野	—
	再診	榎木	細野	安部	細野	安部	—
脳神経外科		石澤 安藤	郭 川久保	山下 安藤	石澤 川久保	安藤	郭 山下
整形外科	初診	日下・河合	村上	青芝	前田	後藤(毅)	担当医
	予約診	—	今泉 青芝	前田 日下 村上	河合 後藤(毅) 塚原	大友 日下 今泉	日下 (第2週目) 今泉 (第1・3週目) 塚原 (第2週目)
眼科		矢田 堀尾	磯部 (非常勤) 矢田	堀尾 高橋	堀尾 矢田	磯部 (非常勤) 高橋	矢田 (1・3・5週目) 高橋 (2・4週目)
泌尿器科		江原	伊藤 (非常勤)	江原	江原	江原	—
歯科・口腔外科		村松 本橋	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

【予約診療について】 (初診の予約診療は行っていません)

	予約・予約変更連絡先	予約変更受付時間(曜日)
●総合内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・循環器内科、呼吸器内科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●糖尿病・内分泌内科	(058) 253-8001 (代表)	9:00～12:00 (月～土曜日)
●外科・乳腺外科	(058) 253-9920	13:00～15:00 (月～金曜日)
●脳神経外科	(058) 253-9921	9:00～13:30 (月～金曜日)
●整形外科	(058) 252-5223	13:00～15:00 (月～金曜日)
●眼科	(058) 253-9931	13:00～15:00 (月～金曜日)
●泌尿器科	(058) 253-8001 (代表)	8:30～15:00 (火・金曜日)
●歯科・口腔外科	(058) 252-6947	8:30～16:30 (月～金曜日) 8:30～12:00 (土曜日)

朝日大学 村上記念病院 【病院機能評価認定病院】
【人間ドック・健診機能評価施設】

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>